

1. 経過

○埼玉県八潮市で発生した道路陥没事故を受けて、国土交通省より令和7年3月18日に下水道管路の全国特別重点調査の要請有り

○調査対象は、内径が2m以上かつ、30年以上経過した下水道管が対象
(本市では、雨水管・合流管で延長約20kmが対象となり、2つの調査委託業務により専門業者に依頼)

○調査対象約20kmのうち、「優先実施箇所」として『曲線部 (R=120m以下)、過去の調査での腐食状況 (ランクC以上)』の区間については、随時、調査結果を国に報告 (本市では、延長約4.9kmが対象)

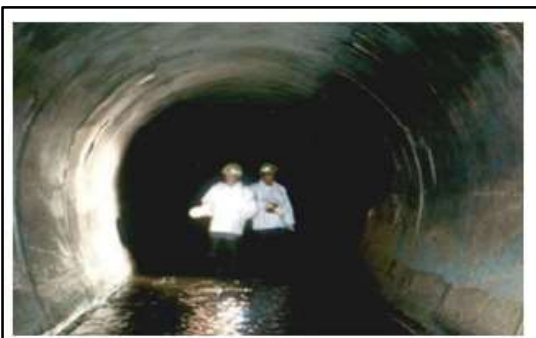
○今回、緊急度Ⅰとして9月17日に公表された440mに加え、9月末時点で新たに判明した384mの合計824mについて国に報告し11月5日に公表されたもの

※下水道管内の腐食や破損等を診断し、劣化の進行順にAからCにランク付けし、
⇒ランクAが1項目以上=緊急度Ⅰ、ランクBが1項目以上=緊急度Ⅱとなる

○今後、残る優先実施箇所以外の約15kmの調査を進めるとともに、緊急度Ⅰの824m及び緊急度Ⅱの区間あわせて約4.5kmの空洞調査を行う。これらの調査結果は、令和8年2月末までに国に対して報告を行う

2. 調査手法

○下水道管内 (潜行目視調査)



○空洞調査 (特殊車両レーダー探査)



○空洞調査 (簡易貫入試験)

